

PHILIPS

Brilliance

438P1



www.philips.com/welcome

JA	ユーザーマニュアル	1
	カスタマサポートと保証	21
	トラブルシューティング & FAQ	25

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス	1
1.2 表記の説明	2
1.3 製品と梱包材料の廃棄	3
2. ディスプレイのセットアップ	4
2.1 取り付け	4
2.2 ディスプレイの操作	7
2.3 MultiView	11
2.4 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし	13
3. 画像の最適化	14
3.1 SmartImage	14
3.2 SmartContrast	15
4. 技術仕様	16
4.1 解像度とプリセットモード	18
5. 電源管理	20
6. カスタマサポートと保証	21
6.1 Philipsフラットパネルディスプレイの画素欠陥ポリシー	21
6.2 カスタマサポートと保証	24
7. トラブルシューティング& FAQ	25
7.1 トラブルシューティング	25
7.2 一般FAQ	26
7.3 Multiview FAQ	28

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips モニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。

- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。(重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。)
- 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- 操作または輸送中、またLCDを強く打ったり落したりしないでください。

メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- 長時間使用しない場合は、電源のプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気が多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。

1. 重要

- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
 - 温度：0～40°C 32～104°F
 - 湿度：20～80% RH

焼き付き/ゴースト像に関する重要な情報

- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）

- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内/トランクにモニタを放置しないでください。

注

モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロックにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

注

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器-WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html>

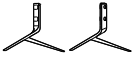
2. ディスプレイのセットアップ

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



* CD



Stand/Base



Screw
M4 x 14



* Remote Control
Batteries AAA R03 1.5V



Power



* VGA



*USB A-B



* DP



* HDMI



* Audio

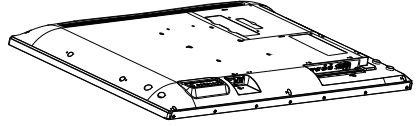
* 地域によって異なります。

注

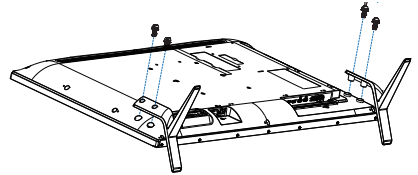
販売する国・地域により付属されるケーブルが異なる場合がございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

2 ベースの取り付け

1. このディスプレイをしっかりと保護し、傷や損傷を防ぐために、スタンドを設置するときは、ディスプレイを下向きにして柔らかく滑らかな表面に置いてください。

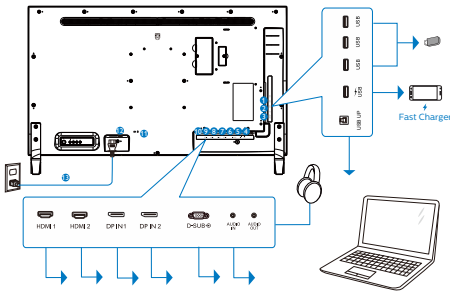


2. スタンドのネジ穴をモニターの背面に合わせてから、ドライバーを使用して4本のネジを締め、所定の位置に固定します。



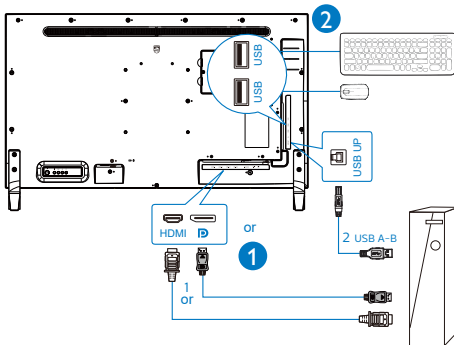
2. ディスプレイのセットアップ

3 PC に接続する



- ① USB ダウンストリーム
- ② USB ダウンストリーム /USB 高速充電器
- ③ USB アップストリーム
- ④ オーディオ出力
- ⑤ オーディオ入力
- ⑥ VGA 入力
- ⑦ DP IN 2 入力
- ⑧ DP IN 1 入力
- ⑨ HDMI 2 入力
- ⑩ HDMI 1 入力
- ⑪ Kensington ロック
- ⑫ 電源スイッチ
- ⑬ AC 電源入力

USB ハブ



PC に接続する

1. 電源コードをディスプレイ背面にしっかりと接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとディスプレイの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとディスプレイの電源をオンにします。ディスプレイに画像が表示されたら、インストールは完了です。

4 USB ハブ

国際的なエネルギー標準に準拠するために、このディスプレイのUSBハブ/ポートはスリープモードと電源オフモードの間、無効になります。

この状態のとき、接続されているUSBデバイスは動作しません。

USB機能をずっと「オン」の状態にするには、OSDメニューに移動し、「USB待機モード」を選択し、これを「オン」状態に切り替えます。モニターを工場出荷時設定にリセットする場合は、必ず、OSDメニューで、「USBスタンバイモード」を「オン」に選択してください。

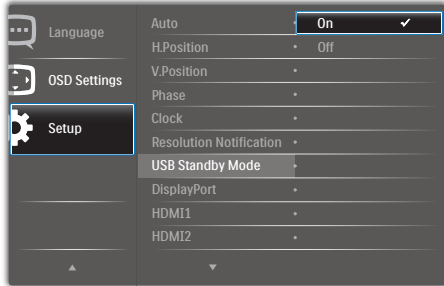
5 充電用USB

このディスプレイにはUSBポートがあり、USB充電など、標準的な電力を出力できます（パワーアイコンUSBで識別可能）。そのポートからスマートフォンを充電したり、外付けHDDに電力を供給したりできます。この機能を利用するには、ディスプレイの電源を常に入れておく必要があります。

一部のPhilipsディスプレイでは、「スリープ」モードに入ると、デバイスの給電・充電が停止することがあります（白のパワーLEDが点滅します）。その場合、OSDメニューに入り、「USB Standby Mode」を選択し、「オン」に切り替えてください（初期設定はオフです）。これで、モニターがスリープモ

2. ディスプレイのセットアップ

ードに入っても、USB 給電・充電機能が維持されます。



注

電源スイッチでモニターの電源を切った場合、すべての USB ポートがオフになります。

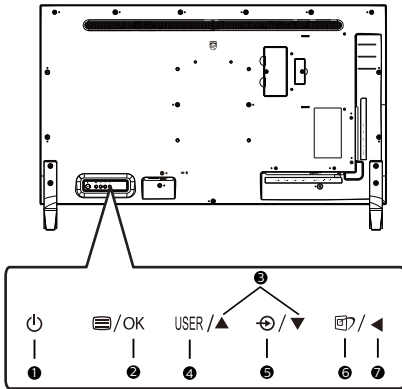
警告

ワイヤレスマウス、キーボード、ヘッドホンなどの USB 2.4 GHz ワイヤレスデバイスは、USB 3.2 以降のバージョンの高速信号デバイスにより干渉を受け、無線伝送の効率が低減する可能性があります。これが発生した場合は、次の方法を試して、干渉の影響を低減させてください。

- USB 2.0 レシーバーを USB 3.2 以降のバージョンの接続ポートから離してください。
- 標準の USB 延長ケーブルまたは USB ハブを使用して、ワイヤレスレシーバーと USB 3.2 以降のバージョンの接続ポートとの間の空間を広げてください。

2.2 ディスプレイの操作

1 コントロールボタンの説明

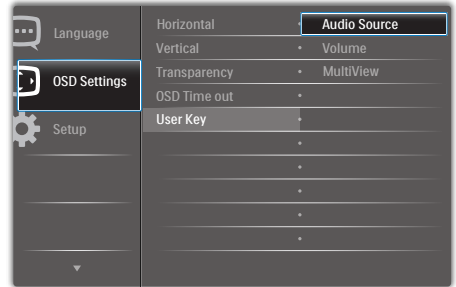


1	⏻	電源のオン/オフを切り替えます。
2	☰/OK	OSD メニューにアクセスします。 OSD 調整を確認します。
3	▲▼	OSD メニューを調整します。
4	USER	ユーザーのお気に入りキー。 OSD から自分専用のお気に入りの機能をカスタマイズして、「ユーザーキー」にします。
5	↻	信号入力ソースを変更します。
6	🖼️	SmartImage ホットキー。次の7つのモードを選択できます：Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。
7	◀	前のOSD レベルに戻ります。

2 独自の「USER(ユーザー)」キーをカスタマイズする

このホットキーでは、お気に入りの機能キーをセットアップできます。

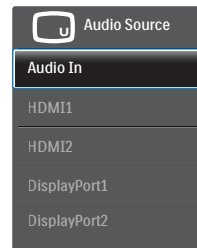
1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。



2. ▲または▼に動かして、メインメニュー [OSD Settings] (OSD設定) を選択し、次に右に動かしてOKします。
3. ▲または▼に動かして、[User Key] (ユーザーキー) を選択し、次に右に動かしてOKします。
4. ▲または▼に動かして、希望の機能 [Audio Source] (オーディオソース)、[Volume] (音量)、[Input] (入力)。
5. 右に動かして選択をOKします。

これで、ディスプレイの背面にあるホットキーを直接押すことができます。

例えば、機能として [Audio Source] (オーディオソース) を選択した場合、下に動かすと [Audio Source] (オーディオソース) メニューが表示されます。

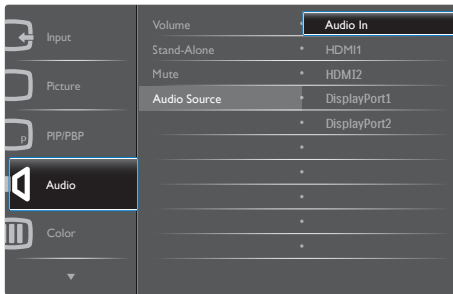


2. ディスプレイのセットアップ

3 ビデオ入力に依存しない独立したオーディオ再生

Philips ディスプレイは、PIP/PBP モードではビデオ入力に依存せずに、オーディオソースを独立して再生できます。例えば、このディスプレイの **[Audio In](オーディオイン)** ポートに接続されたオーディオソースからMP3 プレーヤーを再生しながら、**[HDMI]**、**[DisplayPort]** から接続されたビデオソースを視聴できます。

1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。



2. ▲または▼に動かして、メインメニュー **[Audio](オーディオ)** を選択し、次に右に動かしてOKします。
3. ▲または▼に動かして、**[Audio Source](オーディオソース)** を選択し、次に右に動かしてOKします。
4. ▲または▼に動かして、希望のオーディオソース **[Audio In](オーディオイン)**、**[HDMI1]**、**[HDMI2]**、**[DisplayPort1]**、**[DisplayPort2]**。
5. 右に動かして選択をOKします。

注

次にこのディスプレイをオンにすると、最後に選択したオーディオソースがデフォルトで選択されます。これを変更してデフォルトとしてお気に入りのオーディオソースを新しく選択するには、選択ステップを再び行う必要があります。

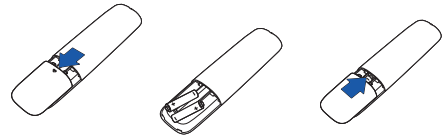
- 4 リモコンには 1.5V AAA 電池 2 個で電力を供給します。

電池の取り付け・取り換え方法:

カバーを押しながらスライドして開きます。

電池を収納する場所には (+) と (-) の指示があります。それに合わせて電池を入れます。

カバーを戻します。



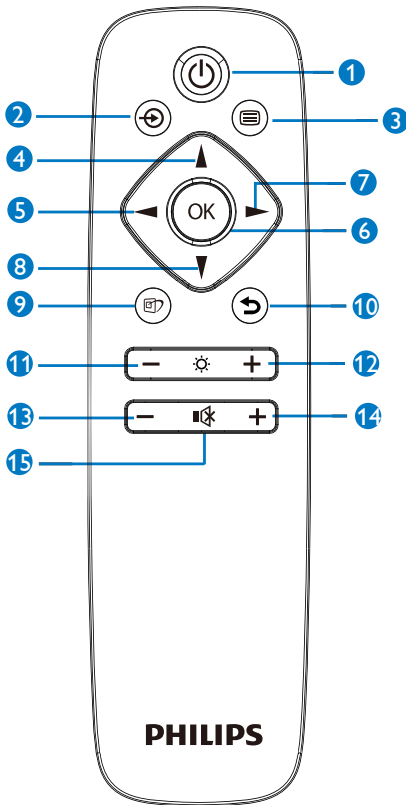
注

電池の使用方法を間違えると、漏れや爆発が発生することがあります。次の指示に従ってください。

- 収納する場所の (+) 記号と (-) 記号と “AAA” 電池の (+) 記号と (-) 記号が一致するように電池を入れます。
- 異なる種類の電池の併用はお止めください。
- 新しい電池と古い電池の併用もお止めください。電池の耐用年数が短くなったり、漏れが発生したりします。
- 漏れを防ぐために、使い切った電池はすぐに取り外してください。電池から液体が漏れた場合、それに触れないでください。皮膚を怪我する恐れがあります。
- リモコンを長期間使用しない場合、電池を取り外してください。

2. ディスプレイのセットアップ

5 リモコンボタンの説明



8	▼	OSD メニューを調整します / 値を下げます。
9	☞	SmartImage。複数の選択肢があります。 EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode (LowBlue モード)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。
10	↶	前の OSD レベルに戻ります。
11	—	明るさを下げます。
12	+	明るさを上げます。
13	—	音量を下げます。
14	+	音量を上げます。
15	🔇	ミュート

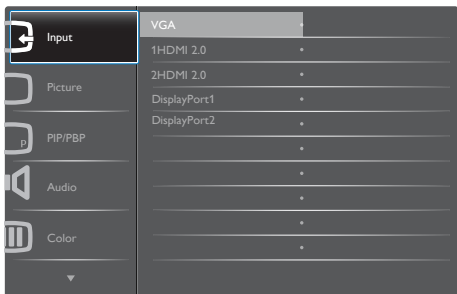
1	🔌	これを押して電源を入れたり、切ったりします。
2	📶	信号の入力源を変更します。
3	☰	OSD メニューが表示されます。
4	▲	OSD メニューを調整します / 値を上げます。
5	◀	前の OSD レベルに戻ります。
6	OK	OSD 調整を確定します。
7	▶	OSD メニューが表示されます。OSD 調整を確定します。

2. ディスプレイのセットアップ

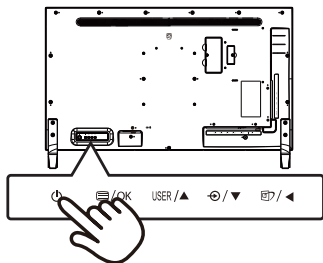
6 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは？

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD ディスプレイに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりディスプレイの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。



コントロールキーの基本および簡単な指示



OSD メニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

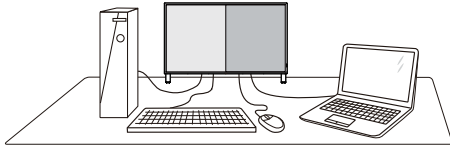
Main menu	Sub menu	
Input	VGA	
	1HDMI 2.0	
	2HDMI 2.0	
	DisplayPort1	
	DisplayPort2	
Picture	Picture Format	Wide screen, 4:3, 1:1
	Brightness	0-100
	Contrast	0-100
	Sharpness	0-100
	SmartResponse	Off, Fast, Faster, Fastest
	SmartContrast	On, Off
	Gamma	1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6
	Pixel Orbitaling	On, Off
Over Scan	On, Off	
PIP/PBP	PIP/PBP Mode	Off, PIP, PBP 2Win, PBP 3Win, PBP 4Win
	Sub Win1 Input	VGA, HDMI, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2
	Sub Win2 Input	VGA, HDMI, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2
	Sub Win3 Input	VGA, HDMI, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2
	PIP Size	Small, Middle, Large
	PIP Position	Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left
	Swap	
Audio	Volume	0-100
	Stand-Alone	On, Off
	Mute	On, Off
	Audio Source	Audio In, HDMI1, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2
Color	Color Temperature	5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K
	sRGB	
	User Define	Red: 0-100 Green: 0-100 Blue: 0-100
Language		English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어
OSD Settings	Horizontal	0-100
	Vertical	0-100
	Transparency	Off, 1, 2, 3, 4
	OSD Time Out	5s, 10s, 20s, 30s, 60s
	User key	Audio Source, Volume, MultiView
Setup	Auto	
	H. Position	0-100
	V. Position	0-100
	Phase	0-100
	Clock	0-100
	Resolution Notification	On, Off
	USB Standby Mode	On, Off
	DisplayPort	1.1, 1.2
	HDMI1	1.4, 2.0
	HDMI2	1.4, 2.0
	Reset	Yes, No
	Information	

7 解像度通知

このディスプレイは、そのネイティブ解像度 3840 × 2160 で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。ディスプレイが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。3840 × 2160 での使用が、最適な結果が得られます。

解像度アラートの表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューの Setup(セットアップ) からオフに切り替えることができます。

2.3 MultiView



1 MultiView とは？

Multiview により、アクティブな様々な種類の接続が可能になり、デスクトップ PC やノート PC のような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

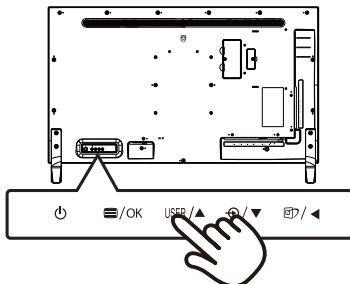
2 必要な理由とは？

超高解像度 Philips MultiView ディスプレイでは、職場でも家庭でも便利な接続性を享受できます。このディスプレイを使用することで、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。

例：小さなウィンドウでオーディオをオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックから Excel ファイルを編集しながら、会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたりする事が可能になります。

3 ホットキーで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？

1. 独自の「USER」キーをマルチビューホットキーとしてカスタマイズし、背面カバーのボタンを押します。



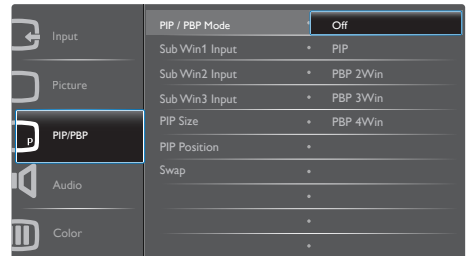
2. MultiView 選択メニューが表示されます。
▲または▼に動かして選択します。



3. 右に動かして選択をOKします。

4 OSDメニューで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？

1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。



2. ▲または▼に動かして、メインメニュー [PIP / PBP] を選択し、次に右に動かして OK します。
3. ▲または▼に動かして、[PIP / PBP Mode] (PIP / PBPモード) を選択し、次に右に動かします。
4. ▲または▼に動かして、[Off] (オフ)、[PIP]、[PBP 2Win]、[PBP 3Win]、または [PBP 4Win] を選択し、次に右に動かします。
5. 右に動かして選択をOKします。

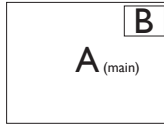
2. ディスプレイのセットアップ

5 OSDメニューのMultiView

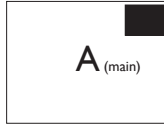
- PIP / PBP Mode (PIP / PBPモード) :
MultiViewには、次の5つのモードがあります : [Off] (オフ)、[PIP]、[PBP 2Win]、
[PBP 3Win]、[PBP 4Win]。

[PIP] : ピクチャインピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。

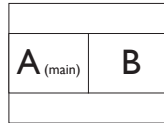


サブソースが検出されない場合 :

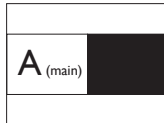


[PBP 2Win] : ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。

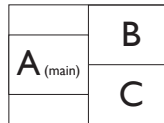


サブソースが検出されない場合。

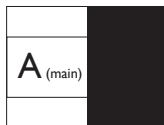


[PBP 3Win] : ピクチャバイピクチャ

他のソースの2つのサブウィンドウを開きます。

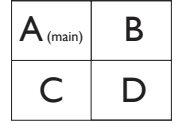


サブソースが検出されない場合。



[PBP 4Win] : ピクチャバイピクチャ

他の信号ソースの3つのサブウィンドウを開きます。



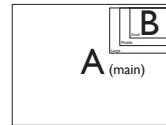
サブソースが検出されない場合。



注

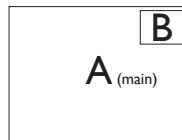
PBPモードに入っているとき、画面の上下に黒いストライプが表示されると正しい縦横比になっています。

PIP Size (PIPサイズ) : PIPがアクティブになっているとき、次の3つのサブウィンドウサイズを選択できます。 [Small] (小)、 [Middle] (中)、 [Large] (大)。

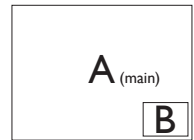


- PIP Position (PIP位置) : PIPがアクティブになっているとき、次の4つのサブウィンドウ位置を選択できます。

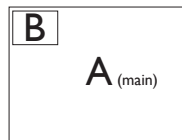
右上



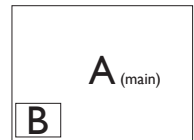
右下



左上



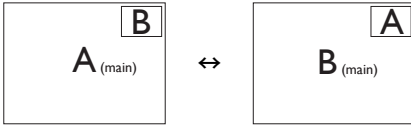
左下



2. ディスプレイのセットアップ

- **Swap(スワップ)**: ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

[PIP] モードの A と B ソースのスワップ:



- **Off(オフ)**: MultiView機能を停止します。

		SUB SOURCE POSSIBILITY (x1)				
MultiView	Inputs	VGA	HDMI1	HDMI2	DisplayPort1	DisplayPort2
MAIN SOURCE (x1)	VGA	●	●	●	●	●
	HDMI1	●	●	●	●	●
	HDMI2	●	●	●	●	●
	DisplayPort1	●	●	●	●	●
	DisplayPort2	●	●	●	●	●

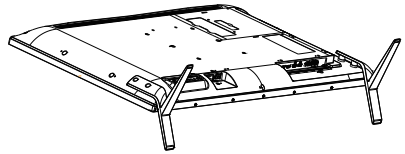
注

1. スワップ機能を実行すると、ビデオとそのオーディオソースが同時にスワップされます。(詳細についてはページの <7>「ビデオ入力

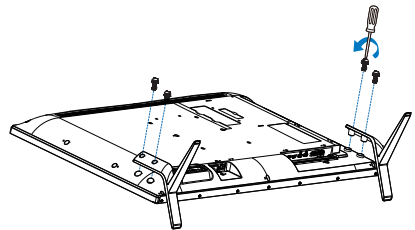
2.4 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、ディスプレイベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

1. ディスプレイ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。

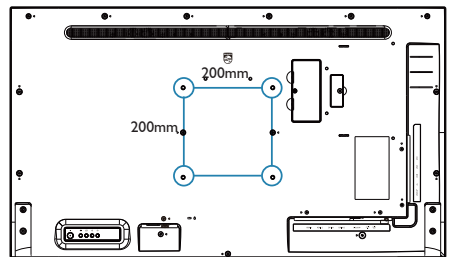


2. 留めネジを緩め、次にディスプレイから土台から取り外します。



注

このディスプレイは 200mm x 200mm VESA 準拠の取り付けインターフェースを受け入れます。



3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 SmartImage とは？

SmartImage はさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされており、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImage は最適化された最高のディスプレイパフォーマンスを発揮します。

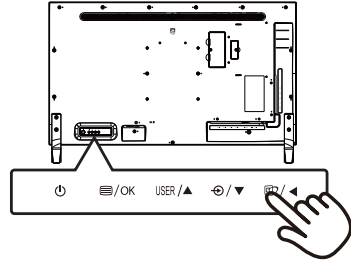
2 必要な理由とは？

あなたはお気に入りのタイプのコンテンツをすべて最適化された状態で表示するディスプレイを必要としています。SmartImage ソフトウェアは輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整し、あなたのディスプレイの視聴体験を向上します。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartImage は画面に表示されたコンテンツを分析する Philips 独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImage は画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては1つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

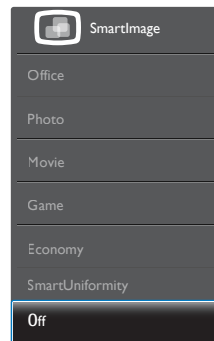
4 SmartImage はどのようにして有効にするのですか？



1. 左に動かし、画面ディスプレイで SmartImage を起動します。
2. ▲または▼に動かし、Office (オフィス)、photo (写真)、Movie (動画)、Game (ゲーム)、Economy (エコノミー)、SmartUniformity (スマートユニフォーミティ)、Off (オフ) を切り替えます。
3. 画面ディスプレイの SmartImage が 5 秒間画面に表示されます。または左に動かし確認することもできます。

次の 7 つのモードを選択できます：

Office (オフィス)、Photo (写真)、Movie (動画)、Game (ゲーム)、Economy (エコノミー)、SmartUniformity (スマートユニフォーミティ)、Off (オフ)。



- **Office (オフィス):** テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDF ファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。

- **Photo(写真)**:このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。
- **Movie(動画)**:輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。
- **Game(ゲーム)**:駆動回路上でオンにすると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- **Economy(エコノミー)**:このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- **SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)**:画面の異なる部分の輝度に違いがあるのは、LCDディスプレイでは一般的な現象です。典型的な均一性は約75-80%で測定されます。Philips SmartUniformity機能を有効にすることで、ディスプレイの均一性は95%以上に向上します。これは、より一貫性のある、真性な画像を生成します。
- **Off(オフ)**: SmartImageで最適化はされません。

3.2 SmartContrast

1 SmartContrast とは？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、ディスプレイのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することで、クリアでくっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は？

SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、見やすいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。ディスプレイの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、ディスプレイの寿命を延ばすことができます。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrast をアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整し、バックライト強度を制御します。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

4. 技術仕様

画像 / ディスプレイ			
ディスプレイパネルタイプ	IPS 液晶		
バックライト	W-LED システム		
パネルサイズ	42.51"(108 cm)		
縦横比	16 : 9		
画素ピッチ	0.2451 × 0.2451 mm		
典型的なコントラスト比	1200:1		
最適解像度	VGA : 1920 × 1080 @ 60Hz HDMI 2.0 : 3840 × 2160 @ 60Hz HDMI 1.4 : 3840 × 2160 @ 30Hz DisplayPort : 3840 × 2160 @ 60Hz		
表示角度	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10 (標準)		
画像強調	SmartImage		
表示色	1.07G		
垂直リフレッシュレート	23-75Hz		
水平周波数	30-140KHz		
sRGB	あり		
輝度の均一	あり		
色差 (標準)	あり		
フリッカーフリー	あり		
入出力			
信号入力コネクタ	VGA(アナログ)、Display Port 1.2 x2、HDMI 2.0 x2		
USB	アップストリーム : USB-B x 1 ダウンストリーム : USB3.2 x 4 (1つの高速充電 B.C 1.2 付き)		
入力信号	セパレート同期、緑で同期		
オーディオイン/アウト	PC 音声入力、ヘッドフォン出力		
便宜			
ユーザーコントロールキー			
内蔵スピーカー	5W x 2		
MultiView	PIP (2 x デバイス)、PBP (4 x デバイス)		
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語		
その他	VESA マウント (200 x 200 mm)、Kensington ロック		
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、sRGB、Windows 10/8.1/8/7、Mac OSX		
電源			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	100.8W (標準)	100.0W (標準)	99.0W (標準)
スリープ (スタンバイ)	0.3W	0.3W	0.3W
オフ	0.3W	0.3W	0.3W

4. 技術仕様

オフ (AC スイッチ)	0 W	0 W	0 W
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	344.03 BTU/ 時 (標準)	341.30 BTU/ 時 (標準)	337.88 BTU/ 時 (標準)
スリープ (スタンバイ)	1.02 BTU/ 時	1.02 BTU/ 時	1.02 BTU/ 時
オフ	1.02 BTU/ 時	1.02 BTU/ 時	1.02 BTU/ 時
オフ (AC スイッチ)	0 BTU/ 時	0 BTU/ 時	0 BTU/ 時
オンモード (ECO モード)	53.3 W (標準)		
電源 LED インジケータ	オン: 白、スタンバイ / スリープモード: 白 (点滅)		
電源	AC アダプタ、100-240VAC、50-60Hz		

寸法

製品 (スタンド付き) (幅 × 高さ × 奥行き)	973 × 633 × 259 mm
製品 (スタンドなし) (幅 × 高さ × 奥行き)	973 × 529 × 64 mm
梱包サイズ(スタンド付き) (幅 × 高さ × 奥行き)	1070 × 680 × 186 mm

重量

製品 (スタンド付き)	11.78 kg
製品 (スタンドなし)	11.06kg
製品 (梱包付き)	14.738 kg

環境条件

温度 (操作時)	0°C ~ 40°C
相対湿度 (操作時)	20% ~ 80%
気圧 (操作時)	700 ~ 1060hPa
温度範囲 (非操作時)	-20°C ~ 60°C
相対湿度 (非操作時)	10% ~ 90%
気圧 (非操作時)	500 ~ 1060hPa

環境およびエネルギー

ROHS	あり
梱包	100%リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFRを含まない筐体

キャビネット

色	ブラック
仕上げ	光沢とテクスチャ

注

- このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
- SmartUniformity および Delta E の情報シートは、ボックスに含まれます。

4.1 解像度とプリセットモード

1 最大解像度

1920 × 1080 @ 60 Hz (アナログ入力)
3840 × 2160 @ 60 Hz (デジタル入力)

2 推奨解像度

1920 × 1080 @ 60 Hz (アナログ入力)
3840 × 2160 @ 60 Hz (デジタル入力)

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720 × 400	70.09
31.47	640 × 480	59.94
35.00	640 × 480	66.67
37.86	640 × 480	72.81
37.50	640 × 480	75.00
37.88	800 × 600	60.32
46.88	800 × 600	75.00
48.36	1024 × 768	60.00
60.02	1024 × 768	75.03
44.77	1280 × 720	59.86
63.89	1280 × 1024	60.02
79.98	1280 × 1024	75.03
55.94	1440 × 900	59.89
70.64	1440 × 900	74.98
65.29	1680 × 1050	59.95
67.50	1920 × 1080	60.00
67.50	3840 × 2160	30.00
135.00	3840 × 2160	60.00
133.29	1920 × 2160 PBP mode (2 Win)	59.99

3 ビデオタイミング

解像度	垂直周波数 (Hz)
640 × 480P	59.94/60Hz 4:3
720 × 576P	50Hz 4:3
720 × 576P	50Hz 16:9
720 × 480P	59.94/60Hz 16:9
720 × 480P	59.94/60Hz 4:3
920 × 1080P	50Hz 16:9
1280 × 720P	50Hz 16:9
1280 × 720P	59.94/60Hz 16:9
1920 × 1080P	59.94/60Hz 16:9
1920 × 1080P	59.94/60Hz 16:9
1920 × 1080I	59.94/60Hz 16:9
1920 × 1080I	50Hz 16:9
3840 × 2160P	60Hz 16:9
3840 × 2160P	50Hz 16:9
3840 × 2160P	30Hz 16:9
3840 × 2160P	25Hz 16:9
3840 × 2160P	24Hz 16:9

注

1. 最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。
推奨解像度

VGA : 1920 × 1080 @ 60Hz

HDMI 1.4 : 3840 × 2160 @ 30Hz

HDMI 2.0 : 3840 × 2160 @ 60Hz

DP v1.1 : 3840 × 2160 @ 30Hz

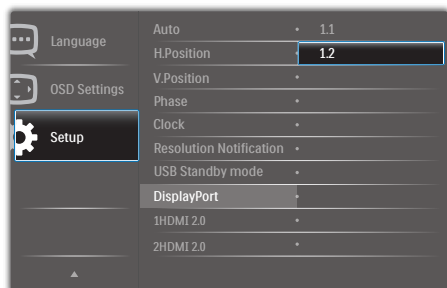
DP v1.2 : 3840 × 2160 @ 60Hz

4. 技術仕様

2. 工場出荷時のデフォルト設定では、DisplayPort v1.1 は 3840 × 2160 @ 30Hz の解像度をサポートしています。

最適な解像度は 3840 × 2160 @ 60Hz です。OSD メニューに入り、設定を DisplayPort v1.2 に変更してください。また、お使いのグラフィックカードが DisplayPort v1.2 をサポートしていることも確認してください。

設定/パス：[OSD] / [Setup]（設定） / [DisplayPort] / [1.1, 1.2]。



5. 電源管理

PCにVESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニターは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が発見されると、ディスプレイは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平同期	垂直同期	使用電力	LED 色
アクティブ	オン	あり	あり	100 W (標準) 179 W (最大)	白
スリープ (スタンバイ)	オフ	なし	なし	0.3 W	白 (点滅)
スイッチオフ	オフ	-	-	0 W	オフ

次のセットアップは、このディスプレイの消費電力を測定するために使用されます。

- ネーティブ解像度: 3840 × 2160
- コントラスト: 50%
- 輝度: 70%
- Color temperature (色温度): 6500k (完全な白パターンの場合)

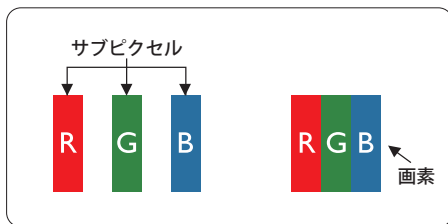
注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

6. カスタマサポートと保証

6.1 Philipsフラットパネルディスプレイの画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するために懸命に努力しています。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルディスプレイで使用される TFT ディスプレイパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、許容できない数の欠陥があるディスプレイを修理または交換する保証をしています。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFT ディスプレイパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、ディスプレイのサブ画素の 0.0004% 以下の欠陥は許容されます。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つ

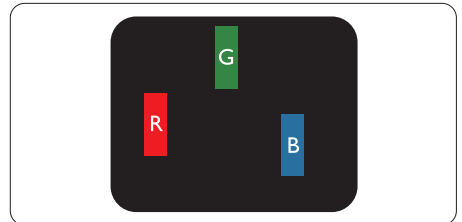
の色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

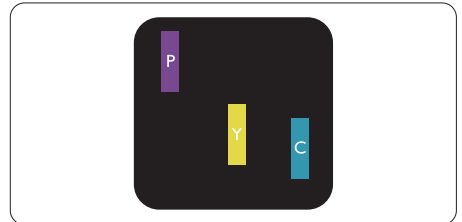
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には2つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類の子画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはディスプレイが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介し

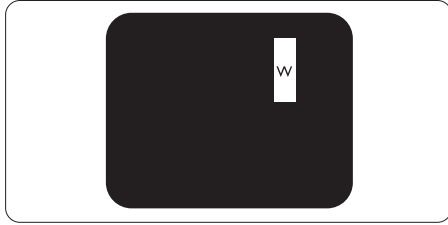


1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素：

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)



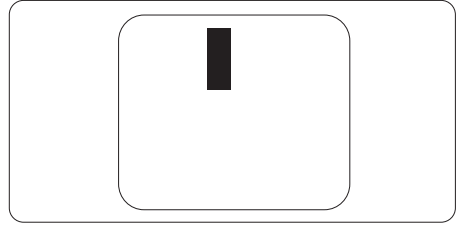
3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)。

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

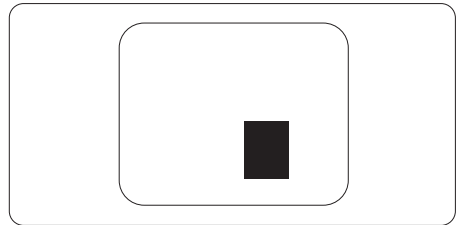
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはディスプレイが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philipsでは画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、PhilipsフラットパネルディスプレイのTFTディスプレイパネルに、次の表の一覧にある許容範囲を超えた画素またはサブ画素の欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
2つの隣接する点灯サブ画素	0
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)	0
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	12
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	12つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	3つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	2
2つの黒いドット欠陥の間の距離 *	$\geq 20\text{mm}$
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	12つ以下
ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	12つ以下

⊖ 注

- 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

6.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Web サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips カスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

1. フィリップスのウェブサイトのサポートページに掲載されている地域サービスホットラインの重要な情報マニュアルを参照してください。
2. スペア部品は、最初の購入日から最低3年間、または製造終了後1年間のどちらか長い方で、製品の修理に使用できます。

7. トラブルシューティング & FAQ

7.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

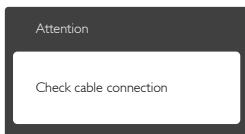
写真が表示されない (電源 LED が点灯しない)

- 電源コードがコンセントとディスプレイ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、ディスプレイ背面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない (電源 LED が白くなっている)

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- ディスプレイケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります。

画面に次のようなメッセージが表示される



- ディスプレイケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(また、クイックスタートガイドも参照してください)。

- ディスプレイケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

AUTO(自動) ボタンが機能しない

- 自動機能はVGA-Analog (VGAアナログ) モードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注

Auto(自動) 機能はDVI-Digital (DVI デジタル) 信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からディスプレイを外してください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSDメインコントロールで「Auto」(自動) 機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される



- OSDメインコントロールで「Auto」(自動) 機能を使用して、画像を調整してください。

7.トラブルシューティング & FAQ

- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される



- OSDメインコントロールで「Auto」(自動)機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- LCDディスプレイで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。こ

れらに起因する故障は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- PCのディスプレイ解像度をディスプレイの推奨される画面のネイティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

更なる支援については、重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照して、Philips カスタマーサービス担当者に連絡してください。

7.2 一般FAQ

Q1: ディスプレイを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode」(このビデオモードを表示できません)というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか？

回答: このディスプレイの推奨される解像度: 3840 x 2160 @ 60 Hz

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたディスプレイに接続します。
- WindowsのStart(スタート)メニューで、Settings(設定)/Control Panel(コントロールパネル)を選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。Display(画面)のコントロールパネル内部で、「Settings」(「設定」)タブを選択します。設定タブの下の「Desktop Area」(デスクトップ領域)とラベルされたボックスで、スライダーを3840 x 2160画素に動かします。
- 「Advanced Properties」(詳細プロパティ)を開き、Refresh Rate(リフレッシュレート)を60 Hzに設定し、OKをクリックします。

7.トラブルシューティング & FAQ

- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが3840 × 2160 @ 60 Hzに設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いディスプレイを取り外し、Philips LCDディスプレイを再接続します。
- ディ스플레이の電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2: LCD ディ스플레이の推奨リフレッシュレートは何ですか？

回答: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは 60 Hz です。画面が乱れた場合、75 Hz まで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: CD-ROM の .inf と .icm ファイルは何のためのものですか？ドライバ(.inf と .icm) はどのようにインストールできますか？

A: これらは、モニタ用のドライバファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。モニタを初めてインストールするとき、モニタドライバ(.inf と .icm ファイル) またはドライバディスクを求められます指示に従って、このパッケージに含まれる付属 CD-ROM を挿入してください。モニタドライバ(.inf と .icm ファイル) は、自動的にインストールされます。

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか？

回答: ビデオカード / グラフィックドライバとディスプレイは組み合わせあって、使用可能な解像度を決定します。Windows® のコントロールパネルの「Display properties (画面のプロパティ)」でお好みの解像度を選択することができます。

Q5: OSD を通してディスプレイを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか？

答え: OK ボタンを押し、次に「Reset(リセット)」を選択してすべての工場出荷時設定に戻します。

Q6: LCD 画面はきつかり傷への耐久性がありますか？

回答: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖った物体から保護するようにお勧めします。ディスプレイを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていることを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: LCD 表面はどのようにして洗浄すればいいのですか？

回答: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: ディ스플레이の色設定を変更できますか？

回答: はい、OSD コントロールを介して、次の手順で色設定を変更できます。

- 「OK」を押してOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示します
- 「下矢印」を押してオプション「Color(色)」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。
 1. Color Temperature(色温度) : 5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、11500K の6つの設定があります。5000K 範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤 - 白色調で」と、また 11500K 温度範囲では、「冷たい青 - 白色調」というメッセージが表示されます。
 2. sRGB: これは、異なるデバイス(例えば、デジタルカメラ、ディスプレイ、プリンター、スキャナーなど)間で、正しい色の変換を確保するための標準的な設定です。

3. User Define(ユーザー定義)：ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り(ケルビン度)によって表されます。2004K など低いケルビン温度は赤で、9300K などの高い温度は青です。6504K での中間温度は、白です。

Q9: LCD ディスプレイを PC、ワークステーション、Mac に接続できますか？

回答: はい、できます。すべての Philips LCD ディスプレイは、標準の PC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Mac システムにディスプレイを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

Q10: Philips LCD ディスプレイはプラグアンドプレイ対応ですか？

答え: はい。ディスプレイは Windows 10/8.1/8/7 とプラグアンドプレイ互換です。

Q11: LCD パネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？

回答: 長時間静止画像を表示すると画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」は LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」「後イメージ」「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。

LCD ディスプレイで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。


警告

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？

回答: お使いの LCD ディスプレイは 3840 × 2160 @ 60 Hz のネイティブ解像度で最高の機能を発揮します。もっとも望ましい画像を表示するには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーをロック解除 / ロックする方法は？

回答:  / OK を 10 秒間押してホットキーをロック解除 / ロックします。これにより、モニターには「Attention (注意)」のメッセージが現れ、下図のようにロック解除 / ロックのステータスを表示します。



Display controls unlocked



Display controls locked

7.3 Multiview FAQ

Q1: PIP サブウィンドウを拡大できますか？

回答: はい、できます。3つのサイズから選択できます。[Small](小)、[Middle](中)、[Large](大)。[]を押して OSD メニューに入ることができます。[PIP / PbP] メインメニューから優先する [PiP Size](PiP サイズ) オプションを選択してください。

Q2: ビデオから独立して、オーディオを聴くにはどうすればいいのですか？

回答: 通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。オーディオソースの入力を変更したい場合 (例: ビデオソース入力には関わりなく独立して MP3 プレーヤーを聴く)、[]を押して OSD メニューに入ることができます。[Audio](オーディオ) メインメニューからお気に入りの [Audio Source](オーディオソース) オプションを選択してください。

ディスプレイを次にオンにすると、ディスプレイはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して「デフォルト」モードにする必要があります。



Q3: PIP/PBP を有効にすると、サブウィンドウがちらつくのはなぜですか？

回答: サブウィンドウのビデオソースが i-timing(interlace timing/ インターレースタイミング) になっているためです。サブウィンドウの信号ソースを P-timing(progressive timing/ プログレッシブタイミング) に変更してください。



2020©TOP Victory Investment Ltd. 無断複写・転載を禁じます。

この製品は、Top Victory Investments Ltd.によって製造され、その責任下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.は、この製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン：M10438PE1T